

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	最新の進捗状況等
市長選挙活動期間のタウンミーティングに参加した。市内全域で取り組まれると聞いたが、継続が力と思う。このタウンミーティングを市政に反映させることを期待する。	しっかりと取り組みたい。今後、土日を活用して全校区を回りたい。24校区全て回るスケジュールで考えている。	市長によるタウンミーティングにつきましては、今年度も実施する予定です。
広報紙配布の件で、自治会会員以外に配っていいのかどうか意見がある。自治会、町会が配布するのは当然のことだけど、うちも90％ぐらいの加入率があり10％が自治会に未加入なので、その方々に配るべきだという意見とそこまでせなあかんのかという意見がある。市はどうお考えなのかという点と、天神山には自治会がないところがありますが、そこも配っているのか？	広報紙を市民に配布する義務は自治体側にある。本市は以前から町会を通じて全戸配布している。その中で、最近町会に入られてない方も増えてきており、市内の各所、市民センター、郵便局、一部のコンビニエンスストア、駅頭に配架している。体の不自由な方とや高齢で取りに行くことが難しい方々については、個別で配布しており、町会以外の自治組織などは、シルバー人材センターを通して配布している。	
広報紙の配布について、私たちが協力するのは当たり前で、残る10％を配るのはそんな難しいことじゃないので、配らせてください。	好意で配られている校区もある。協力いただけると、市としても非常に助る。	
市民にも色々あるから、すべて聞く必要はないが、今日のように市民の声を聞く姿勢を貫いてほしい。	ご意見として承る。	市長によるタウンミーティングにつきましては、今年度も実施する予定です。
最近市町村でＳＮＳの発信を活発にしたら、イメージはちょっと払拭できるんじゃないかと思う。市長個人ではなく市として。	岸和田市公式instagramなどのSNSについて、担当部署において積極的に活用している。	
SNSを伸ばす企業に委託したりして、その担当者個人の裁量におもねるのではなく、市として戦略的に伸ばしていくのが良いのではないかなと。	「広報戦略に注力する」ということ。市公式instagramやX（旧Twitter）、Facebook、LINEなど、今後も積極的に活用していく。	SNSの業務委託には一長一短があります。現状、実績は順調に伸びているため、当面はこのまま自庁運用で伸ばしていく方向です。ただし、今後は総合計画等も踏まえ、発信する内容を精査していく必要があると考えています。
市役所全職員のモチベーションの向上をはかり活性化を図る。市長が一生懸命頑張っても、職員全員が同じ方向へ向いて我々の要望を聞いていただけるかが一番肝心。今日ここで市長にいろいろと話を聞いていただき各課へ持ち帰って実行できるかできないか。我々にしては、ここで意見言った以上はそれをやっていただきたい。各校区を回って意見聞いた以上は、それなりの成果を収めていただき、こういうふうにできましたよと示していただきたい。市の職員が一人丸となって市民に対していろんなことを考えていただくのが一番大事。やはり各職員がモチベーションを上げて1つの方向に向かっていくのが大事だと思う。	まだまだ力不足な点はあるが、その分、自ら現場へ足を運び、市民の皆さまの生の声をお聞かせいただき、一つでも多くの願いを叶えられる市長を目指したい。	市長によるタウンミーティングにつきましては、今年度も実施する予定です。
市からの配布物について。毎月広報など全戸配布の配布物が町会に届く。それを町会の役員が各組単位に仕分けして取りに来てもらったり配布したり、そして組長が各戸に配る。その配布物が多過ぎる。デジタル化が進んでる中で何とかならないか。広報を簡素化して回覧にできないか。	配布物の仕訳は大変であると認識している。広報紙は市公式ウェブサイトやLINEでも見ることができる。なお、仕分け・配布手数料が町会に入るからありがたいという意見もある。	今年度より、配付手数料を1部あたり10円から12円へと増額しました。なお、広報紙の電子版につきましては、市公式ウェブサイトや公式LINEから閲覧可能です。
目安箱的な取り組みを考えて欲しい。困りごとが土生町会の受付に来る。	ホームページに各部署宛に直接メールで問い合わせができる機能がある。	
メールできない人が問合せできる先やその他のことも周知されていない。	広報広聴課の市民相談室では、連絡をいただくと担当課を調べて案内している。市の業務の中で特にトピックス的な部分は、広報紙で特集を組んで業務の内容を詳しく紹介している。より分かりやすく伝わるような広報紙にアップデートしていきたい。また、LINEなどの市公式SNSで行事や各種情報を発信している。今後、より一層の活用を図りたい。	
情報が周知されていない。	様々な手法を用いての周知に努める。	
ミーティングは定期的に行ってほしい。	今後も引き続き実施する。	市長によるタウンミーティングにつきましては、今年度も実施する予定です。
広報紙配付手数料の増額。	検討する。なお、広報紙配布を廃止すればとの意見もある。	今年度より、配付手数料を1部あたり10円から12円へと増額しました。
タウンミーティングにもっと若い人や岸和田にルーツのない人が参加してもらえれば。子育てや介護しやすいまちにしてほしい。	若い世代の参加を促し、その意見をまちづくりに反映させていきたい。	市長によるタウンミーティングにつきましては、今年度も実施する予定です。
ホームページが見にくい。	市公式ウェブサイトは本年3月にリニューアルした。	
市からの提供物品の受け取りを郵送にできないか。広報紙の仕分け袋を同封して欲しい。	ご意見として承る。なお、仕分け・配布手数料が町会に入るからありがたいという意見もある。	今年度より、配付手数料を1部あたり10円から12円へと増額しました。
タウンミーティングは良いこと。	来年も続けていきたい。校区の意見としてまとめていただきたい。	市長によるタウンミーティングにつきましては、今年度も実施する予定です。
町内の回覧や広報をネットで配信できないか。	広報紙配布が町の収益になっているという意見もある。全ての町会等との協議が必要。	今年度より、配付手数料を1部あたり10円から12円へと増額しました。なお、広報紙の電子版につきましては、市公式ウェブサイトや公式LINEから閲覧可能です。
時代はデジタル化。岸和田市のLINEを福岡市並に改善して欲しい。SNSにも力入れて欲しい。ホームページの改善。YouTubeはひどい。	全ての市民に広報紙が行き渡るよう配布している。デジタル化が進む中、将来的にどのように変えていくのか検討中。SNSに関しては、LINE、Facebook、X、Instagramなどで情報発信している。LINEの友だち登録や、その他のアカウントフォローをお願いしたい。	令和8年7月17日に、本市の公式TikTokを開設しました。
市の広報紙を泉佐野市のように職員が駅前で配布するなどしてはどうか。	広報紙の配布も色々ご意見がある。参考にさせていただく。	
各校区のタウンミーティングの要望を広報紙へまとめて記載して欲しい。進捗状況なども重ねて記載。全市民に見える化を。	全校区終了後、取りまとめのうえ公表を予定している。	令和8年2月17日に、市公式ウェブサイトにて公開しました。
タウンミーティングは市で日程を決めていただきたかった。町会も負担になる。意見を聴いていただくのは良いこと。	今回は各校区長と協議のうえ日程を決めた。今後の方法は検討する。タウンミーティングは継続して実施したい。	市長によるタウンミーティングにつきましては、今年度も実施する予定です。

岸和田祭が有名となりガラの悪いイメージがついてしまっている。市外からの若い人が住みたくなるようなイメージアップが必要。	300年を超える岸和田だんじり祭の伝統を次世代へ繋ぎつつ、スポーツによるブランディングを進めていきたい。牛ノ口グラウンドを改修し、ネーミングライツも検討したい。	イメージ向上はシティセールス推進事業全般で担っています。「スポーツのまち」としてのブランディングは総合計画等に基づき展開しますが、現状はSNS等による関連情報の発信に留まっています（牛ノ口公園運動広場の改修工事等に関する事業は所管外となります）。
広報紙の紙質変わり重くなった。広報紙はネットで見れるのか。	費用は変わらない。厚みが3/4ほどになり軽くなった。電子版は市公式ウェブサイト、LINE等で見ることができる。	